

一、次の文章は、中沢けいの小説『楽隊のうさぎ』の一節で、二年連続で全国大会に出場し、昨年は金賞をとった花の木中学校の吹奏楽部に入部した、中学生の主人公の奥田克久が、他の一年生部員とともに地区大会に参加し、ようやく自分たちに求められている水準を理解するようになった場面です。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

うんと唸った川島が、

「負けた」

といった一言ほど全員の感情を代弁している言葉は他になかった。

①「完成されているけど、音の厚みには欠けるよ」

「負けた」と言う全員の感情、とりわけ一年生たちの驚きを代弁した川島の一言だけでは、出番を控えていた花の木中学吹奏楽部は気持ちの立て直しはできなかったかもしれない。川島の唸り声は全員の気持ちは代弁していたが、気持ちを向ける方向の指示は持っていなかった。

「完成されているけど、音の厚みには欠けるな」

こんなことを言うOBがいなかったら、自分たちの出番前だということも忘れただろう。

「、中学生はね。技術が良くても音の量感には乏しいよ」

「うちはまあ、中学生にしては音の厚みはあるしさ」

②現役の生徒の後方の席でOBたちはこんな批評をしていたのだ。昨日まで、鳥の鳴き声みたいに聞こえたOBの言葉が、今日はちやあんと人間の話し声に聞こえる。

これは克久にとって、驚きに値した。

克久がいちばん間抜けだと感じたのは百合子だった。なにしろ、地区大会を終わって家に戻って最初に言ったのは次の一言だ。

「、強い学校は高い楽器をたくさん持っているのね」

それを言っは、みもふたもない。言っはならない真実というものは世の中にはある。それに高価な楽器があれば演奏できるというものでもない。演奏する生徒がいて、初めて高価な楽器がものを言うのだなんてことを、克久は百合子に懇切丁寧に説明する親切心はなかった。

「小学生とはぜんぜん違う」

実は百合子も少し興奮気味だったのである。克久には小学校時代は太古の昔、悠久のかなただ

ったが、百合子にはわずか六カ月前にもならない。だいたい、その頃、銀行に申し入れた融資の審査がまだ結論が出ていなかった。伊万里焼の皿の並んだテーブルをはさんで恐竜と宇宙飛行士が会話しているという比喩で良いのかどうか。③そのくらい、時の流れの感覚が食い違っていた。これだから中学生は難しい。百合子がうれしい時に使う古典柄の伊万里が照れくさそうに華やいであた。この皿はうれしい時も出番だが、時には出来合いのロールキャベツをりっぱに見せるためにお呼びがかかることもあった。

④翌日から一年生は「やる気あるのか」と上級生に言われなくなった。帰宅は毎日九時を過ぎた。

(語注)

※代弁している：代わって意見を述べる。

※OB：部活動を引退した先輩や卒業生。

※百合子：克久の母。

※みもふたもない：直接に言い過ぎて、話にならないこと。

※懇切丁寧：細かいところまで気を配り、親切に接すること。

※太古の昔、悠久のかなた：非常に遠い昔、はてしなく遠い過去のこと。

※銀行に申し入れた融資の審査：百合子は、店の資金を銀行から借りようとしていた。

※伊万里焼：焼き物の種類。

問一 ぼう線部①「音の厚み」とありますが、これはどのようなことを表していますか。次の中から適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 音が低いこと イ 音が複雑であること
ウ 音が大きいこと エ 音に深みがあること

問二 文中の には、同じ言葉が入ります。次の中から適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア はたして イ きつと ウ やつぱり エ 意外に

問三 ぼう線部②「鳥の鳴き声みたい聞こえたOBの言葉が、今日はちやあんと人間の話し声に聞こえる」とありますが、それはなぜですか。次の中から適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア それまで意味がわからなかったOBの言葉が、ちゃんと理解できるようになったから。
イ それまで遠くにいて聞き取れなかったOBの言葉が、近くで聞くことができたから。
ウ それまで緊張していてわからなかったOBの言葉が、やっとわかるようになったから。
エ それまで聞き流していたOBの言葉に、まじめに耳をかたむけるようになったから。

問四 ぼう線部③「そのくらい、時の流れの感覚が食い違っていた」とありますが、それは何を意味していますか。その説明として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 母親の百合子は、中学生になった克久を、まだ小学生の子どもあつかいしていた。イ 克久にとっては大昔のことに感じていても、百合子にとってはつい最近のことだった。ウ まだ中学生の克久は恐竜が好きだったが、大人の百合子は宇宙飛行士が好きだった。エ 中学生の克久には、母親が大事にしている古典柄の伊万里焼の良さがわからなかった。

問五 ぼう線部④「翌日から一年生は『やる気あるのか』と上級生に言われなくなった」とありますが、それはなぜだと考えられますか。次の中から適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 上級生は、地区大会のレベルの高さにあきらめ、一年生を注意しなくなったから。イ 上級生は、地区大会のレベルの高さに自信をなくした一年生に気をつかったから。ウ 一年生は、ようやく自分たちに求められている水準を理解するようになったから。エ 一年生は、自分たちに求められている水準の高さにすっかり落ち込んでいたから。

問六 波線部「現役生徒の後方の席でOBたちはこんな批評をしていたのだ」とありますが、OBの言葉は、部員全員にプラスに働きました。それはなぜだと考えられますか。本文中の言葉を使って、三十文字以内で答えなさい。なお、句読点も一字と数えます。

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

暁星国際学園が所在する木更津市は、古くから内房エリアの中核都市であり港町として栄えてきた。江戸時代には房総半島の産物を江戸に運ぶ定期湾内航路が存在し、その貨客船五大力船が発着する江戸橋近くの川べりは木更津河岸と名づけられていた。近代に入ってから東京湾内航路は存続してきたが、鉄道や道路の整備に従い、次第に役割を終えていく。最後に残ったのは木更津港と川崎港を結ぶカー・フェリー（自動車航送を行う貨客船）航路だった。①

船から高速道路へと大きく様変わりしたものの、今でも東京湾は木更津と対岸の京浜地区を結ぶ動脈である。地図を見ればすぐに分かることだが、東京から千葉を経て木更津に至る陸路（道路・鉄道）は、かなり回りこむ形になっている。東京湾をまっすぐ突っ切るアクアラインのバイパス効果は、この地理上の特性による。例えば木更津・横浜間の所要時間は鉄道だと二時間程度だが、アクアライン高速バスだとその半分の一時間である。アクアラインは開通当初通行料金がかなり高く設定されていたため通行量が予測を下回った。しかし、開通と同時に開設された高速路線バスは、

バイパス効果による時間短縮が利用者に高く評価され、大成功を収めたのである。次々と増便され、また運行ルートも多様化して今日に至っている。最初、川崎・横浜・羽田空港の三ルートで始まった木更津駅発着のアクアライン高速バスであるが、その後品川・東京・新宿が加わった。とくに東京便は、JR内房・総武線と直接競合する設定で注目された。JRは利用者減少を理由に、内房線の特急「さざなみ」をダイヤ改正のたびに減便し、ついに平日日中の運転を取りやめたので、高速バスに白旗を上げた形である。一方、高速バスを運行するバス会社は、増便に対応する増車を重ね、経営状態も改善されたといわれている。②

木更津駅は、JR内房線と久留里線の鉄道駅であると同時に、今や一大高速バスターミナルでもある。現在、川崎・品川・横浜・羽田空港の各便が東口に、東京便と新宿便が西口に発着し、朝夕のラッシュ時間帯には地元のローカル路線バスをふくめて、ひっきりなしにバスが行き来する。③

東口に集まる自動車の渋滞はかなりはげしいものがある。発着するバスの本数が多い上に、高速バス・ローカルバス・タクシー・自家用車などすべての自動車の一つのロータリー（一方通行の円形周回道路）に集中する構造になっているので、混雑に拍車がかかっている。西口はもとと高速バスの本数が東口より少ないし、バスとそれ以外の自動車それぞれにロータリーが設置され、両者を分ける構造になっているので、まだ何とかなっているという状態だ。④

東口に乗り入れる自家用車は、鉄道やバス利用者の送迎目的ばかりではない。一昔前まで、地方中核都市の駅前にはデパートやスーパー・商店街があるのが普通で、それを目的とする人の出入りも多かった。だが自動車社会化が進み、大きな無料駐車場を備えたショッピング・モールが市街地を避けた郊外に建設されるようになると、駅前には閑古鳥が鳴き、閉店が相次ぐようになる。いわゆる「シャッター通り」の発生である。その空きビルに新しくテナントとして入るようになったのは学習塾や予備校だった。そのターゲットの小中高生は自分で自動車を運転できないから、公共交通機関によるアクセスが容易な「駅前」は依然として有力な立地条件なのである。しかし塾に通う子どもが皆そろって電車やバスを使っているわけではなく、自動車社会の今日やはり保護者が自家用車で送迎するケースが多いのが現実だ。木更津駅東口にも何校かの教室があり、夕方から夜にかけて、保護者が運転する車が集中する。これも渋滞を増やす要因となっている。⑤

木更津市では、東口の混雑を緩和するため、バスターミナルの配置を見直すそうだ。高速バスは木更津市にとって欠かせない重要な交通路なのであるから、ぜひとも安全で使いやすい施設にしてほしいものである。⑥

(語注) ※テナント：借り主。

問一 本文に次の文を補うとしたら、①～⑥のどの場所が適していますか。一つ選び、記号で答えなさい。

◇だが、一九九七年の東京湾横断道路、すなわちアクアラインの開通が決定打となる。

問二 ぼう線部ア「地理上の特性」を本文の表現を使って説明しなさい。

問三 ぼう線部イ「高速バスに白旗を上げた形」とあります。

- I 「白旗を上げた」とはどのような意味ですか。説明しなさい。
- II なぜそのような状態になったのですか、本文の内容を参考にして説明しなさい。

問四 ぼう線部ウ「東口・エ西口」それぞれの「ロータリー」の構造を説明しなさい。

問五 ぼう線部オ「シャッター通り」の発生』について、その最も根本的な原因を答えなさい。

問六 ぼう線部カ「新しくテナントとして入るようになったのは学習塾や予備校だった。」ことの理由となる立地条件として本文で指摘しているのはどんなことですか。本文の表現を使って答えなさい。

三、次のぼう線部の漢字の読み方をひらがなで答えなさい。

- ① 縦横に走る道路
- ② 潔白を証明する
- ③ 研究に専念する
- ④ 領地を分割する
- ⑤ 都合で遅れる
- ⑥ 奮ってご参加ください
- ⑦ 犯罪を裁く
- ⑧ 不足分を補う
- ⑨ 山の頂上に上る
- ⑩ 文集を編む

四、次のぼう線部のカタカナを漢字に直しなさい

- ① 新たな問題がハセイする
- ② 大学教授のコウギを聞く
- ③ 労働組合をソシキする
- ④ 銀行のヨキンを降ろす
- ⑤ 記事のチョウフクを避ける
- ⑥ 大会委員長をツトめる
- ⑦ 細かな説明をハブク
- ⑧ 作戦をネル
- ⑨ 人の道をトク
- ⑩ 救護所をモウける

五、次の熟語の類義語を、後の語群の中から選び、それぞれ漢字に直して答えなさい。

- ① 容易
- ② 刊行
- ③ 傾向
- ④ 了解
- ⑤ 方法

〔語群〕

しんよう ようきゅう かんしん かんたん ふうちよう
はっこう じゅんび しゅだん なつとく せいさく

六、次の熟語の対義語を漢字で答えなさい。

- ① 安全
- ② 解散
- ③ 過失
- ④ 損失
- ⑤ 未熟

七、次の熟語の構成と同じものを、後のア～オの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 親友
- ② 握手
- ③ 国営
- ④ 伝授
- ⑤ 加減

ア 主従 イ 雷鳴 ウ 深海 エ 読書 オ 温暖

八、次の漢字を組み合わせ、四字熟語を三つ作りなさい。

走	歩	進	知	新	小	故
日	月	晩	温	成	大	器

九、次の各組の空らんに通して入る、体の部分を表す漢字一字をそれぞれ答えなさい。

- ① 【一】をかしげる 【一】を突つ込む 【一】が回らない 【一】を長くする
- ② 【一】を切る 【一】が減らない 【一】がすべる 【一】を割る



九	八	七	六	五	四	三	二	一
①		①	①	①	⑥	①	⑥	①
②		②						
		③						
		④	②	②	⑦	②	⑦	②
		⑤						
			③	③	⑧	③	⑧	③
			④	④	⑨	④	⑨	④
			⑤	⑤	⑩	⑤	⑩	⑤